

平成 24 年度 第 4 回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：平成 25 年 2 月 20 日（水）

午後 3 時 30 分～午後 5 時

場所：摂津市民図書館 3 階 会議室

出席委員： 6 名

欠席委員： 4 名

事務局： 7 名

- 案件： 1. 平成 24 年度 第 3 回協議会要点録の承認について
2. 市民図書館等モニタリング評価結果について（第 3 四半期分）
3. 平成 25 年度年間事業計画（案）について
4. その他

1. 平成 24 年度 第 3 回協議会要点録の承認について

（事務局）「平成 24 年度 第 3 回協議会要点録」の概要について説明
質疑応答なく、原案どおり承認いただく。

2. 市民図書館等モニタリング評価結果について（第 3 四半期分）

（事務局）委員各位においては、第 3 四半期の図書館運営に関する評価を実施していただいている。内容については従前のもと同様で、7 項目について各 5 点満点で評価していただき、10 名の委員の合計点数 350 点をもとに、A～E の 5 段階評価で評価させていただいた。

平成 24 年度第 3 四半期の委員評価は 247 点得点率（70.6%）、C 評価である。総合評価についても、従来通り委員評価の点数に事務局側で評価した 10 項目合計 50 点の評価を加点した 400 点満点で評価している。総合評価については 278 点（得点率 69.5%）で、平成 24 年度第 3 四半期における協議会委員評価および総合評価については、5 段階評価では C 評価（適切）となる。

【質疑応答や各委員の意見等】

（事務局）自由記述欄に「2F に美術館案内等のパンフレットのコーナーがある。ボール箱に複数のパンフレットが重ねて入れられている。重ならない様に専用の棚等を用いて見やすい配置が出来ないか」とのご提案をいただいているが改善できないか。

（事務局）膨大な数のパンフレットやチラシが届くので、精査し配置にも工夫しているがやはり専用のパンフレットスタンドを購入するほかないと考えている。今後検討していきたい。

- (事務局) アンケート用紙と共にチェックシートの指標となるものを前回の委員会でご希望いただいたので作成したが、内容についてご意見いただけないか。
- (委員) 「業務担当者の適正配置」と「利用者への案内説明」を合わせて一緒に評価ください、とあるがまだばらばらだと評価しやすい。片方が5で片方が2というときに「真ん中を取って3」としてしまう。
- (事務局) 細かく評価していく方法もあるが、評価項目が多すぎると逆に負担になるかというところで現在の形になったという経緯がある。
- (委員) 「担当者のマナーは良かったか」については高く評価しているが、担当者の適正配置となると、3階の事務所に職員が少なく、誰もいないことが何度かあった。
- (事務局) 人員は1日に9~10人は勤務しており直営時代より減ってはいないが、開館時間を延長したことでシフト勤務になり、午前中や夕方など人員が少なくなる時間帯がある。事務室に誰もいないという状況は作らない様に気をつけてはいるが、どうしても手薄な時間が出来てしまう。
- (事務局) 指標については事務局の方でも見直しし、改善していくので引き続きご意見等いただきたい。
- (委員) 秋に蔵書点検で臨時に2日間休館し、その振替で1月と3月の第2木曜日を開館しているが、1月の来館者数はどうか。私個人的にはそこまでしないといけないうのかなと思う。
- (事務局) 来館者集は普段の平日と変わりはない。1月、3月については蔵書点検で閉館した分年間の開館日数を減らさない様に開けている。
- (委員) 本来休館日に開館しますとなると、周知も大変ではなかったか。
- (事務局) 本来開館日なのに閉館することに比べると、大きな混乱はなかった。閉館日に開館していて来館者の方には喜んでいただけたと思う。
- (委員) 第3四半期より実施されているコミュニティプラザでの出張おはなし会について教えてほしい。
- (事務局) コミュニティプラザの絵本ルームにスタッフ3人が出張し、大型絵本などを持参して、隣接する保健センターの3歳6ヶ月児検診の日に合わせておはなし会を実施している。来年度は今年度の反省点も踏まえ、検診の日に合わせるのではなく図書館主体のスタンスでもう少し広報にも力を入れて実施したいと考えている。
- (委員) 私たちもコミュニティプラザなどで活動したり4ヶ月検診のブックスタートの時におはなしや絵本の紹介をすることがあるし、男女共同参画センターにも読みきかせグループもある。市内にいろんな絵本のグループがあるがお互いを知らない。もっと一緒に何かできる機会があったらいいと思う。

- (委員) 一度どこかで顔合わせをして、活動を紹介しあう場が出来たらいいのではないかと。ただ顔見知りになるだけでもいいと思う。
- (委員) ぜひ図書館が中心になって、例えば読みきかせの講座などで先生を呼んでもらってそこに市内の団体に来てもらって、講座を皆で受けながら顔も見れたらいいと思う。ほかにも毎年5月に安威川公民館での「絵本であそぼ」にいつも絵本などを貸していただいているが、そこで図書館の宣伝コーナーを作るなどしてもおもしろいと思う。いきなりではなくても、どんな団体があるのか情報収集をして、図書館などで「こんなグループがあります」など、グループ紹介をするなど、どんな団体があるか、まずはそんなところからしたらどうか。
- (事務局) 直営の時代から図書館に係わって下さっているボランティアグループが3つ4つあって、そちらの方とは昨年の春に勉強会を3回にわたって実施している。今年は夏に同じような形で勉強会を開催しようと考えているが、そこに参加していただけるようなお声掛けをするところから始めたい。また相談させていただいて企画していきたいと思う。出張おはなし会もコミュニティプラザだけではなく公民館や小学校にも行かせていただけたらと考えているので、ぜひ今後発展的にやっていきたいと考えている。

3. 平成25年度年間事業計画(案)について

- (事務局) 平成25年度の主要事業計画についての説明。
市民図書館及び鳥飼図書センターでのおはなし会等の継続事業、新規事業について年間を通して現在挙げられている案件についての説明を行った。

【質疑応答や各委員の意見等】

- (委員) 第1回の協議会時に大人の工作教室を市民図書館でも開催してもらえないかという話をしたが無理なのか。
- (事務局) まだ具体的な検討には入っていないが6月や9月あたりに実施していければと思う。
- (委員) 全体を通して鳥飼図書センターの方が内容が充実している。「こわいおはなし会」は面白そうだし市民図書館でもしたらどうか。
- (事務局) まだ年度始まりなので色々話し合っただけの内容を詰めていきたい。
- (委員) TRCスタッフが選んだ本の企画は大変楽しかったので25年度もやってほしい。
- (委員) おすすめの本に選んだスタッフの感想があり、すごく参考になった。自分の関心のなかった本に目を向けるきっかけになった。
- (委員) 小学校と連携して「小学生が選ぶ児童書ベスト20」や図書館に来られている方

にアンケートを取って「面白い本ベスト 20」などでも面白いと思う。特に何を
読みにという事もなく図書館に来た時に参考になれば楽しいと思う。

(事務局) 24年度は全国企画だったため、25年度も実施されるなら是非賛同したいし、な
いならいで摂津市のみで考えていくか、大阪府下など周辺図書館を巻き込んで
の企画を考えていきたい。

【質疑応答や各委員の意見等】

(委員) 先程図書を返却した時に注意書きのようなものをもらったが、マナーなので当
たり前かもしれないが、「汚す・書き込む×」「返却期限の遅れ×」「新聞や雑誌
を独り占めする×」とあった。近頃は「きれいに使っていただきありがとうございます」など、いい表現を使われていることが多い中、やってはいけない事を「×」
「×」「×」で書かれている。

(事務局) 図書館振興財団が発行している図書館マナーブックを TRC が配布する形を取っ
ている。こちらに挙げられていることはどこの図書館でも頭を悩ませている。

(事務局) 要は否定から入るのではなく、お互いに気持ち良く使っていきましょうという
ような感じの表現にした方がよいと思う。

(委員) 本の購入について購入基準はあるか、どのような購入方法を取っているか。また
本を廃棄する際はどのようにしているのか。

(事務局) 購入は選書基準に則り図書館のスタッフで選書会議を行っている。選書方法は
「週刊新刊全点案内」という一週間で出版された本を全てカタログ化した書籍に
より選書している。実物を見る必要があるときには書店に行って手に取って内容
を確認している。その上で選書リストを作成して生涯学習課に何をあげ、生涯学
習課で決裁を頂いたら発注するという段取りで進めている。廃棄に関しては専門
業者へ委託し、断裁処理を行っている。

(委員) 市内にはモノレールの駅が 2 つ、阪急の駅が 2 つあるがモノレールであればモ
ノレール文庫のようなところに提供できたらと思う。本が並んでいたら、駅構内
も知的な感じがする。引越しのシーズンともなると、大量に図書が捨てられたり
するが、ある市では焼却場の一角にそういった図書を並べている所がある。そう
いった寄贈図書は受け入れないのか。

(事務局) 年に数回は大量の寄贈についての申し入れがあるが、一か月前までという決ま
りは設けているものの拒否はしていない。ただし百科事典等についてはお断りし
ている。

(委員) 飲食の出来るスペースを作る案はどうなっているか。学習室で受験生が勉強し

ているが、食事時間には帰らないといけない。飲食する部屋があればいいと思う。

(事務局) 今検討しているのはお茶やコーヒーを飲みながら雑誌が読めるようなスペースを考えているが、社会教育施設は原則飲食禁止であるので一気にとはいかないと思うが、一步一步ニーズを考えながら整備したいと考えている。

(事務局) 委員評価にしても行政評価にしても、広報の実施状況について点数が辛い、これは TRC だけの問題ではなく行政にももっと広報してほしいという風に受け止めている。足りないところだと考えているので改善していきたいと考えているが、近年広報媒体としてインターネット・ホームページ等の活用が目覚ましく、特に図書予約の件数は非常に伸びているので、現在のホームページを市のホームページに移行するような形を取って、もっと使いやすく即時性のあるようなものになるようリニューアルを考えている。

4. その他

<平成 24 年度 第 4 四半期のチェックシートによる評価及び平成 25 年度第 1 回図書館等協議会について>

(事務局) 1 月から 3 月の評価について、4 月下旬から 5 月中旬頃にチェックシートを郵送するので評価していただき、その結果報告を 5 月下旬から 6 月上旬の開催予定の平成 25 年度第 1 回の協議会で予定している。その時期が来れば委員各位に案内させていただくので、その際はよろしくお願ひしたい。

(事務局) 現在、委員の皆様は任期が 7 月 31 日までとなっている。改選について団体各位へは年度明けに文書にて推薦の依頼を、一般公募については広報せつ 6 月 1 日号で募集する予定である。

<その他図書館運営についてのご意見>

(委員) 団体の表彰や公職にあった方の表彰はあるがボランティアで長年図書館に貢献されている個人に対する表彰制度はないのか。

(事務局) 行政功労表彰は市の委員などの公職を一定期間勤められた方を表彰させていただいているが、ボランティア活動されている方に対しては市政功労としては難しいかもしれない。その方がどういった方で、どういう活動をされているかを教えていただけたら、市の規定でなくても大阪府や国の社会教育に特に貢献していただいた方への表彰規定なども照らし合わせて何かしらの形で表彰できないのか探してみたい。